

ニューヨークのオフ・ブロードウェイでも大絶賛!
全世界200都市200万人が熱狂した、音楽ドラマ・エンターテインメント!

人生の弾き方、お見せします。
飛びだせ、鍵盤!
楽器は、マジックだ!

ピアノ

2PIANOS 4HANDS

The Marquis Entertainment Inc. and Talking Fingers Inc. production of
2 PIANOS, 4 HANDS

Created/Performed/Directed by
Ted Dykstra and Richard Greenblatt

Stage Management by Associate Production Designer
Beatrice Campbell Steve Lucas

Produced by
Colin Rivers and Robert Richardson

配給: 松竹 ©BroadwayHD/松竹 (カナダ/2013/ピタサイズ/114分/5.1ch)日本語字幕スーパー版

松竹ブロードウェイシネマ <https://broadwaycinema.jp/>

Instagram: www.instagram.com/shochikucinema/ Facebook: www.facebook.com/ShochikuBroadwayCinema Twitter: <https://twitter.com/SBBroadwayCinema>

2024年3月22日(金)より全国順次限定公開!

上演回数4000回！米国、最多制作演劇作品トップ10入りを果たし、
“カナダ演劇界のレジェンド”と言われる
テッド・ダイクストラとリチャード・グリーンブラットが放つ、
ツアー全公演売空を誇る、グローバル・ヒットメーカー・ショー開幕！



1994年、テッドとリチャードが新作『ピアノ』(原題: 2 Pianos 4 Hands)の企画制作に向けてトーキング・フィンガーズを結成。その後、トロントにあるタラゴン・シアターが1995~96年シーズンの上演プログラムに本作を採用。1996年4月に初演初日の幕が上がると批評家から熱狂的な称賛をもって迎えられ、チケット売空回続出の人気作となった。1996年、トーキング・フィンガーズはタラゴン・シアターと共にドラ・メイヴァー・ムーア賞のアウトスタンディング・プロダクション部門で受賞。同年、テッドとリチャードは、栄えるチャルマーズ賞のカナディアン・ブレイクティング賞部門で受賞している。

1997年10月、デイヴィッドとエド・マーヴィッシュをはじめとするプロデューサーたちの支援を受け、『ピアノ』(原題: 2 Pianos 4 Hands)はオフ・ブロードウェイのザ・ブロードウェイ・シアターに進出。幅広い支持を得て、6ヵ月におよぶロングランの後、1998年春にワシントンD.C. のザ・ケネディ・センターで上演を果たした。同年夏、マーヴィッシュ・プロダクションズと共に歴史あるロイヤル・アレキサン德拉・シアターで行ったトロント凱旋公演は、連日チケット売空の大成功を博す。1999年春にバーミンガム・レパトリー・シアターでヨーロッパ初演。同年秋にはロンドンのウェストエンドにあるコメディ・シアターで上演。

マーキス・エンターテインメント、トーキング・フィンガーズ、マーヴィッシュ・プロダクションズと共同でトロント再演を行ったほか、2度の日本ツアー(松竹主催)では、東京を皮切りに全国ツアーを敢行。『ピアノ』(原題: 2 Pianos 4 Hands)は、カナダをはじめ世界各地で異なるキャスト(男性および女性)による様々な版が制作・上演されており、初演時から現在までにカナダ、米国、英国、日本、オーストラリア、香港、南アフリカ、オーストリア、フィンランドをはじめ世界各地にある200もの劇場で4000回以上にわたって上演。世界5大陸で200万人近くの観客を動員し、史上最も成功したカナダ発の演劇作品のひとつと言われている。



©Lydia Pawelka

(2 Pianos 4 Hands 公式ホームページより)

「松竹ブロードウェイシネマ」とは？

現代の舞台の本場はやはりアメリカ・ニューヨークのブロードウェイ。でも、そう簡単にニューヨークへ足を運ぶ事はなかなか難しい。そこで、お手頃な価格でゆったりと本場ブロードウェイの舞台を中心に数々の傑作を映画館でも楽しみ頂きたい—そんなコンセプトから誕生したのが、「松竹ブロードウェイシネマ」。松竹は映画や歌舞伎・演劇、その他沢山のエンターテインメントを扱っている、言ってみれば「総合芸術」な会社。だから映画と舞台の融合だって不思議じゃない。日本映画界史上初で、ブロードウェイの舞台を松竹が「映画館」から皆様へ、《最高な形》でお届けします！

©Rick O'Brien

ストーリー

強引な親に風変わりな教師、何時間にもおよぶ反復練習、舞台恐怖症、ライバルや試験の重圧、そして偉大なピアニストになるという夢—ピアノ漬けの日々を送るなか、テッドとリチャードは“ピアノオタク”になっていく。成長するにつれ、2人は“とても上手”と“偉大”との差を痛感し、コンサートに引張りだこのスターにはなれないのではないかと、身の程を思い知らされることに。とはいえ、2人がこの界隈で1、2を争うピアニストかもしれないこと自体、祝福する価値あり！『ピアノ』(原題: 2 Pianos 4 Hands)は、ピアノのレッスンに付き物のユーモラスなあれこれや、いずれ来る夢を手放す瞬間の喪失感を描く。



©Rick O'Brien

(2 Pianos 4 Hands 公式ホームページより)

2024年3月22日(金)より
[東京][大阪][名古屋]他
全国順次限定公開!

東京	東劇 [3週間限定公開] 03-3541-2711	東京	シネ・リーパル池袋 03-3590-2126	東京	109シネマズ二子玉川 0570-077-109	埼玉	MOVIXさいたま 050-6865-4351
千葉	MOVIX柏の葉 050-6865-3401	名古屋	ミッドランドスクエアシネマ 052-527-8808	大阪	なんばパークスシネマ 050-6864-7125	京都	MOVIX京都 050-6865-3125
兵庫	kino cinéma 神戸国際 078-230-3580	岡山	MOVIX倉敷 050-6864-7076	福岡	T・ジョイ博多 092-413-5333	熊本	熊本ピカデリー 050-6861-7645
北海道	札幌シネマフロンティア 011-209-5400						

※T・ジョイ博多については公開日が異なる可能性があります。決定次第、発表いたします。